

## 複数のサーバーコンソール出力を一画面で同時に監視



### 導入先：社内システム

とある情報通信会社では、サーバーの死活状態やアプリケーションのステータスをラック単位で監視するワークステーションを複数台導入していた。

監視対象のサーバーでアラートが上がると、ワークステーションのコンソール画面の出力が変化して、管理者に通知する仕組みになっていたが、確認するワークステーションの切替は手動で行っていたため、操作が煩雑だった。

その上、従来のシステム構成では、一度に1台のワークステーションしか表示できなかったため、あるワークステーションを表示している間に、別のワークステーションで障害が発生すると、アラートに気がつかず、結果的に障害への対処が遅くなってしまいうことも問題視されていた。

### ATEN ソリューション：

IP-KVM スイッチ KN2116A のパネルアレイモード機能で複数のサーバーを同時監視

#### KN2116A

16ポートIP-KVMスイッチ



#### KA7170

USB コンピューターモジュール



### 導入のメリット

#### - 障害への迅速な対応 -

IP-KVMスイッチ配下にあるサーバーのコンソール画面が一画面に出力されるため、画面の変化を逃すことなく、障害にも迅速な対応が可能

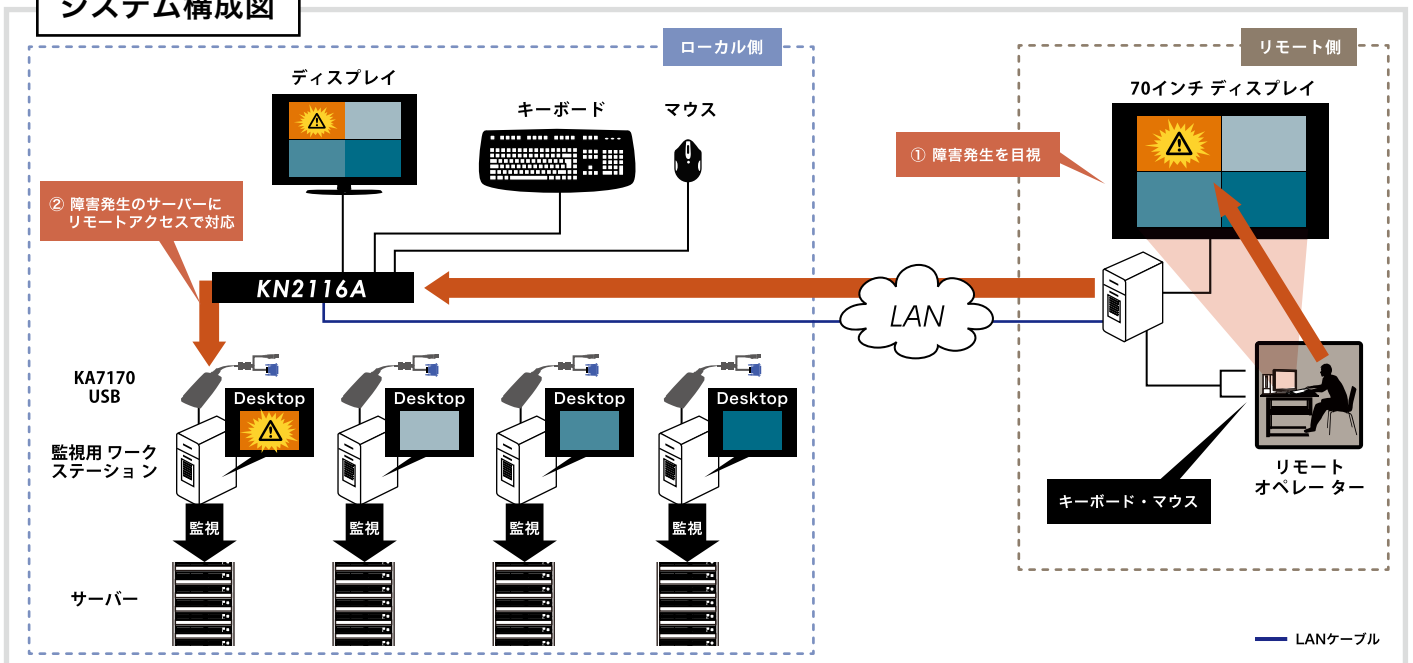
#### - 多数のサーバーを効率的に監視 -

最大16台のサーバー出力を一度に確認可能。操作したいサーバーはパネルをクリックするだけで簡単にアクセス

#### - 時間や場所を問わず監視できる環境を構築 -

パネルアレイモードはローカル/リモートの両方で利用可能。ネットワークにつながる環境であれば、いつでも、どこからでもKN2116Aにアクセスして監視できる環境に

### システム構成図



### ■ 導入費用

型番	市場想定価格	台数	小計
KN2116A	¥ 198,000	1	¥ 198,000
KA7170	¥ 13,000	4	¥ 52,000
合計(税別)			¥ 250,000

# KN2116A

## 16ポート IP-KVM スイッチ

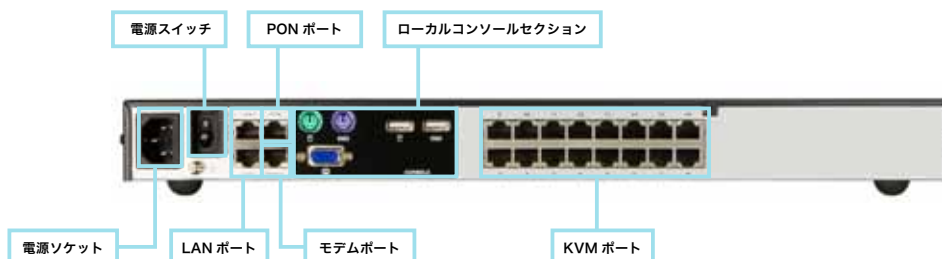


### Features

- 16台のサーバーをローカル接続またはネットワーク経由で操作可能
- マルチユーザー対応 - 最大3ユーザー (ローカル1名、リモート2名)が異なるポートに同時アクセス可能
- 10/100/1000Mbps対応ネットワークインターフェースを2ポート搭載 - ネットワークの二重化や、異なるIPアドレスの設定が可能
- 低帯域環境に配慮したネットワーク機能 - PPPダイヤルイン接続、グレースケール表示による帯域負荷軽減
- カスケード接続(最大2段階)対応 - 最大256台のサーバー操作が可能
- ブレードサーバー対応
- KVMポートを電源管理デバイス (PN) の電源アウトレットに関連付けし、製品インターフェースからサーバー電源のリモート管理が可能
- 充実したログ機能 - 選択したイベントのログ情報を管理者にメール通知
- IPv6対応
- ALTUSEN 統合管理システムCC2000対応

### ■ インターフェース

リア側



# KA7170

## USB コンピューターモジュール



### Features

- 自動信号補正機能(ASC)搭載により、延長距離を変更する場合でもDIPスイッチ等の設定は不要
- キーボード/マウスエミュレーション - KVMスイッチはモジュールの取り外しや付け替えの影響を受けることなく動作
- ファームウェアアップグレード可能
- 解像度 - 最大1,600×1,200。最大延長距離50m
- 高い信頼性と互換性を誇るASIC搭載
- 設置の際に扱いやすいコンパクトサイズ

※コンピューターモジュールと本体の間には、弊社 Cat5eケーブルのご使用を推奨致します。



**ATEN ジャパン株式会社**

〒116-0003 東京都荒川区南千住3-8-4 ATENビル

TEL: 03-5615-5810 FAX: 03-3891-3810

E-mail: sales@atenjapan.jp

ATEN ジャパンWebサイト: <http://www.atenjapan.jp>

お問い合わせは下記販売店まで